

親子で

ものづくり思い出づくり



残り少ない夏休み、日増しに長くなる秋の夜、テレビを消して、ゲームの手をとめて、親子でもものづくり“しませんか”？

子どもと一緒にものづくりの喜びを！

子どもたちの理科はなれがすすみ、おまけに、ものをつくる経験も乏しくなるなど、“ものづくり大国ニッポン”の未来が危ぶまれています。その原因として、テレビやゲーム、インターネットなどが挙げられますが、そんな時代だからこそ、私たち大人が子どもたちに、ものをつくる“場”を与えてあげることが大切ではないでしょうか？

ひと昔前の子どもたちは、自然にある身近な素材を使って、あれこれ工夫しながら、手づくりのおもちゃで遊んでいました。おじいちゃんから教えてもらった竹とんぼ、お父さんには紙ヒコーキ、お母さんからはあやとりやシャボン玉など、おもちゃのつくり手は、親から子へと引き継がれていったものです。

何かをつくり上げる過程は、ワクワクするほど楽しいもの。手先の器用さだけでなく、創造力をかき立てられ、五感を豊かに育ててくれます。残り少ない夏休みや秋の夜長は、ものをつくる面白さ、ものができたときの喜びを、お子さんと共有してみたいかがでしうか？

ろうそくの炎の熱エネルギーを利用して走る！

昔なつかしい『ポンポン船』に挑戦！



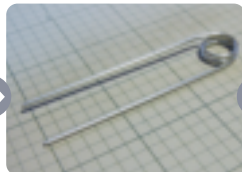
炎の力

アルミ管を使って、昔なつかしいおもちゃ『ポンポン船』をつくってみませんか？『ポンポン船』の原動力は、ろうそくの炎による熱エネルギー。アルミ管の中で温められた水が蒸気となって管の先から噴出し、その推進力で船が進みます。力加減が難しいボイラーづくりは家族に手伝ってもらうなど、親子で力を合わせて挑戦してみましょう！

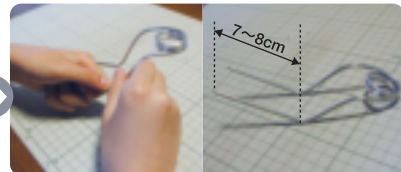
- ＜材料＞ ◎アルミ管（外径3～5mm）約50cm ◎ろうそく（直径約1cm） ◎押しピン ◎両面テープ
※ホームセンターなどで購入できます。 ◎アルミホイル ◎発泡スチロールトレイ



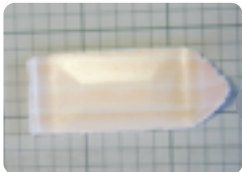
ボイラーとなる部分をアルミ管でつくり、アルミ管の中央部をマジックの柄などに合わせて、管の中空部をつぶさないように、ゆっくり少しずつ巻き付けていきます。



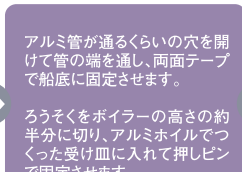
両方の管の長さが同じになるように調整しながら、2回転半ほど巻きます。



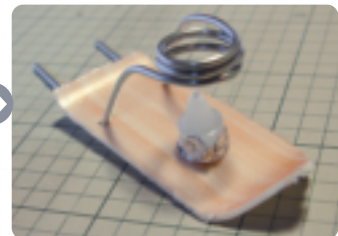
ボイラー部の下にろうそくが立てられるように、写真のように管の形を整えます。



船体をつくり、発泡スチロールトレイに船の形を置いてカッターで切り抜きます。



ろうそくをボイラーの高さの約半分に切り、アルミホイルでつくった受け皿に入れて押しピンで固定させます。



ろうそくの中心がボイラーの前面の下になる位置で固定できれば、ポンポン船のできあがり！



アルミ管にスポイトなどで水を入れ、アルミ管の内部を水で満たします。管の先から水が出ないようにすばやく指で押さえてから、水面にそっと浮かべてください。ろうそくに火をつけてしばらくすると、ポンポンと波を立てながら走り出します。

※火を使うので、必ず大人の人と一緒に遊ぶようにしましょう。
※はさみやカッターなどを使うときは、ケガをしないように十分注意してください。



エコロジー

秋の夜長はキャンドルのあかりで節電！ 手作りキャンドルに挑戦！

照明のスイッチをオフにしてキャンドルに火を灯せば、節電対策にもつながります。せっかくなら手づくりのマイキャンドルで、キャンドルナイトを満喫しませんか？

粘土キャンドルキット

¥577／ペガサスキャンドル



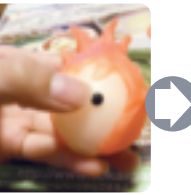
材料は、球状のボールキャンドルと、体温でやわらかくなる粘土のようなカラーシート（ロウ）のみ。



使いたい色のカラーシートをちぎり、体温になじませてやわらかくなるまでみえます。全体に色をつけたいときは、カラーシートを薄くして重ねていきます。



カラーシートで目や鼻などをつけていきます。



約10分でマイキャンドルの完成！目や鼻などのパーツはとれることもありますが、体温でやわらかくすれば、何度でもくっつけることができます。



体温で温めるとやわらかくなるロウを使って、粘土感覚で作る手づくりキャンドルキット。世界でひとつの手づくりキャンドルが簡単にできあがります。失敗しても温めてやわらかくすれば、何度でもやり直すことができるので、小さなお子さんでも楽しめます。



太陽の力

太陽光発電の仕組みが楽しみながら学べる ソーラー工作キットに挑戦！

今注目の『太陽光発電』の仕組みを楽しみながら学べる『ソーラー工作キット』。エネルギーや環境問題について考えるきっかけづくりに、夏休みの自由研究にもおすすめです！

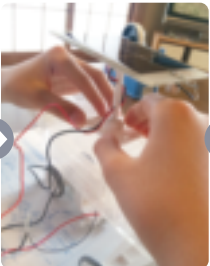
ペットボトルソーラーカー

¥2,100／イーケイジャパン

＜材料＞



慣れない配線部分は慎重に。お父さんと力を合わせてクリア



仕上げてペットボトルに太陽光パネルを取り付けます。



取扱説明書とにらめっこしながら、格闘すること約1時間。ペットボトルをデコれば、自分流にアレンジも楽しめちゃう！



ペットボトルや牛乳パックなどの空き容器を使ってソーラーカーを作成できるキット。太陽電池のエネルギーで走ります。つくるだけでなく、太陽電池の仕組みや省エネルギー、環境問題についても学ぶことができます。

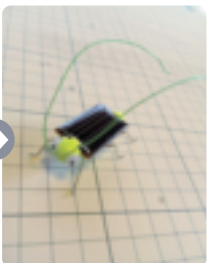
ソーラーバッタ

¥945／イーケイジャパン

＜材料＞



バッタの背中に太陽光パネルを設置します。



材料をカチカチと組み立てるだけで道具も一切必要なし。10分足らずであっという間に完成しました！



太陽光をあてたとたん、ブルブルと動き出すバッタ。この動きにネコもたまらず手がでます！



太陽光発電と携帯電話に使われている振動モーターで動くバッタのキット。背中の太陽電池に光があたると、ブルブルとコミカルに動き回ります。

サイズ：W23×H14×D50mm



ペットボトルソーラーカーも、ソーラーバッタも、太陽の光があたると勝手に動き出して、日陰になるとパタッと止まってしまう…。 “太陽光”が“力”に変わる瞬間を目の当たりにして感動！太陽光発電を身近に感じるのにおすすめです！

手作りおもちゃを見て、触れて、楽しもう！ 『くりっぴープラザ』へ遊びにきませんか？



今回ご紹介した『ペットボトルソーラーカー』『ソーラーバッタ』『粘土キャンドルキット』は、くりっぴープラザにて完成品を展示しています。また、各手づくりキットをご購入いただくこともできます（数量限定）。ご家族みなさんと、ぜひ、遊びにきてくださいね！

くりっぴープラザへGO!GO!